

平成31年度（令和元年度）全国学力・学習状況調査結果分析と改善方策

平均正答率（％） ※大分県・全国は公立の平均正答率。

【小学校】

小学校 6 年生		
	国語	算数
宇佐市	69	68
大分県（公立）	67	67
全国（公立）	63.8	66.6

【中学校】

中学校 2 年生			
	国語	数学	英語
宇佐市	73	60	53
大分県（公立）	74	61	55
全国（公立）	72.8	59.8	56.0

1. 教科ごとの結果分析と改善方策

小学校 国語

1. 教科ごとの結果分析と改善方策

【小学校：国語】

	全体	観点別			
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文 化と国語の特質 に関する事項
宇佐市	69	75.9	59.4	84.5	62.6
大分県	67	76.0	57.0	83.8	57.1
全 国	63.8	72.3	54.5	81.7	53.5

○教科全体で、全国値を上回っている。

○観点別でも、すべての項目において全国値を上回っている。

○「漢字（対象…全国比+15.6）（限らず…全国比+10.6）（関心…全国比+7.2）」で、正答率が高い。

○「記述式（条件に合わせて書く）」3問全てで全国値を上回っている。

△3二「話し手の意図を捉えながら聞き、話の展開に沿って、自分の理解を確認するための質問をする」
→県平均を下回っている

改善方策等

○問題の内容

「知識・活用」を一体的に問う→日常生活の場面と関連付けられた設定の下、内容のまとまりに対応する大問の中で、複数の小問が展開する構成となっている。

大問1 「公衆電話の減少について」→「調べる（資料）」→「わかったこと」→「伝える工夫」

大問2 「食べ物の保存について」→「調べる（本で）」→「梅干しを作ってみよう」

大問3 「豊職人大谷さん」→「インタビュー」→「話しかたの工夫」→「心に残ったことを伝える」

○新学習指導要領「国語科の目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）日常生活に必要な国語について、その特質を理解し適切に使う…

（2）日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め…



○日常生活の中から「自らの疑問」→「課題」を設定し、「調べる（聞き取る）」「まとめる」「推敲する」「伝える」等、一連の学習活動を設定する。

小学校 算数

【小学校：算数】

	全体	観点別			
		数と計算	量と測定	図形	数量関係
宇佐市	68	65.3	52.0	79.5	69.2
大分県	67	64.1	52.0	77.1	68.2
全国	66.6	63.2	52.9	76.7	68.3

○教科全体で、全国値を上回っている。

○観点別では、「数と計算」「図形」「数量関係」において全国値を上回っている。

△「量と測定」において全国値を下回っている。

① (3) 示された図形の面積の求め方を記述で説明する問題

② (3) 2つの棒グラフからわかることを選び、選んだわけを書く問題。

○加法と乗法の混合した計算②(4)、計算の仕方を工夫して計算しやすくする問題③等、四則計算に関するものがよくできている。

改善方策等

○問題の内容

大問1 台形の理解→台形の組み合わせでできる図形→その面積の求め方（○○さんの求め方を説明）

大問2 市の水の使用量→グラフからわかること→○年の何倍か→2つのグラフからわかること（説明）

大問3 「421-298 や 600-201 など」を計算しやすくする方法」→○○さんの計算の仕方の説明等

大問4 遊園地での列（何分後に乗れるか等）（状況の変化への対応「ところが店員さんが減り…」）

○新学習指導要領「算数科の目標」

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 日常の事象を数理的に処理する技能を…

(2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察…簡潔・明瞭・的確に表したり目的に応じて柔軟に表したり…

(3) よりよく問題解決しよう…学んだことを生活や学習に活用しようとする…



○日常生活と関連させた課題の設定

○実感の伴う操作活動や体験活動の工夫

○自分の考えや、友だちの考えとの違いを説明する場面の設定

○複数の資料（グラフや表など）や既習事項の組み合わせさせた問題の工夫

中学校 国語

【中学校：国語】

	全体	観点別			
		話すこと・ 聞くこと	書くこと	読むこと	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項
宇佐市	73	70.8	84.9	71.3	64.8
大分県	74	72.2	83.6	73.5	66.3
全国	72.8	70.2	82.6	72.2	67.7

○教科全体で、全国値を上回っている。

○観点別では、「話すこと・聞くこと」「書くこと」において全国値を上回っている。

△「読むこと」「伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項」では、全国値を下回っている。

○**1**三「掲載されている短歌に対して自分の感じたことを書く」**2**三「話し合いで自分ならどう考えを述べるか」**3**二『意見文の下書き』に文章を書き加える」など、記述式の正答率が高い。

△**1**二「弁当の魅力」として適切なものを**全て**選択する…全てを選びきれていない。

△実際の投稿する際の「宛名の書き方」に課題がある。

改善方策等

○問題の内容

「知識・活用」を一体的に問う→日常生活の場面と関連付けられた設定の下、内容のまとまりに対応する大問の中で、複数の小問が展開する構成となっている。

大問1 まず「全国中学生新聞」を読み→内容の理解を問う問題→投稿された短歌に対する評価をする問題→実際に投稿する場合の封筒の宛名の書き方

大問2 「地域とつながる文化祭」のための話し合いの様子→〇〇さんの発言の果たす役割を選ぶ→〇〇さんの発言についての適切な説明を選ぶ→自分ならどのような考えを述べるか（記述）

大問3 「地域と私たちのつながり」についての「意見文の下書き」「広報誌の一部」をもとに→読み手によりわかりやすくするための書き加え文の選択→「広報誌の一部」の情報をもとに文を書き加える。

○新学習指導要領「国語科の目標」

言葉による見方・考え方を働かせ、言語活動を通して、国語で正確に理解し適切に表現する資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付け…
- (2) 日常生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め…
- (3) 言葉がもつ価値に気づく…思いや考えを伝え合おうとする…



○日常生活・社会生活の中から題材を決め、集めた材料を整理し伝え合う活動の設定。

○自分の書いた文章や発言内容がより伝わるように推敲したり、言い換えたりする場面の設定。

中学校 数学

【中学校：数学】

	全体	観点別			
		数と式	図形	関数	資料の活用
宇佐市	60	62.8	71.0	44.7	56.9
大分県	61	64.6	71.3	44.7	57.0
全国	59.8	63.8	72.4	40.8	56.3

- 教科全体で、全国値を上回っている。
- 観点別では、「関数」「資料の活用」において全国値を上回っている。
- △「数と式」「図形」において全国値を下回っている。
- 記述による説明はよくできている。
- △四則計算、連立方程式、図形…基本事項について課題が見られる。

改善方策等

○問題の内容

- 大問1～5** 「正の整数の四則計算について」「連立方程式」「三角形を平行移動したときの移動距離」「反比例の表から式」「10年玉2枚の表表の確率」
- 大問6** 冷蔵庫の購入検討→2つの冷蔵庫の総費用が等しくなる年数を求める方法（説明）
- 大問7** 「正方形…ABの中点E・BCの中点F… $AF=CE$ の証明」→「平行四辺形の場合、成り立たないことを示す」
- 大問8** 図書委員会でアンケート→表・グラフ→最頻値、平均値、中央値、ヒストグラム→○○さんの考えが適切でない理由を説明
- 大問9** 「連続する3つの奇数の和」→「5つの場合の説明（記述）」

○新学習指導要領「算数科の目標」

数学的な見方・考え方を働かせ、数学的な活動を通して、数学的に考える資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 日常の事象を数理的に処理する技能を…
- (2) 日常の事象を数理的に捉え見通しをもち筋道を立てて考察する
- (3) よりよく問題解決しよう…学んだことを生活や学習に活用しようとする…



○日常生活と関連させた課題の設定

○実感の伴う操作活動や体験活動の工夫

○自分の考えや、友だちの考えとの違いを説明する場面の設定

○複数の資料（グラフや表など）や既習事項の組み合わせさせた問題の工夫

中学校 英語

【中学校：英語】

	全体	観点別			
		聞くこと	話すこと	読むこと	書くこと
宇佐市	53	65.4		54.4	39.9
大分県	55	66.4		55.3	45.4
全国	56.0	67.9		55.6	45.8

△教科全体で、全国値を下回っている。

△観点別でも、すべての項目において全国値を下回っている。特に「書くこと」に課題が見られる。

△「聞くこと」1～4英文を聞いて適切なものを選択、アドバイスを書く…正しく聞き取り書くことに課題

△8、9、10、自分の考えを書く、説明する英文を書く、理由と意見を英語で書く…「書くこと」に課題

改善方策等

○問題の内容

大問1、2、3、4 内容に適する絵を選択、順番に並べる、適している曜日を選択、アドバイスを英語で簡潔に書く。

大問6 英文を読んで、話の流れを示すスライドとして適切なものを選択。

大問7 先生との会話文（チンパンジーのすごさ）を読み、適切なものを選択

大問8 英語の授業で配られた資料（世界食糧計画）について、あなたの考えを英文で書く。

大問9 適切な接続詞を選択、英語表現・英文を書く

大問10 学校を表す2つのピクトグラムの案を比較してどちらがよいか理由と意見を英語で書く

○新学習指導要領「外国語科の目標」

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

（1）実際のコミュニケーションにおいて活用できる…

（2）日常的な話題や社会的な問題について、外国語で簡単な情報や考えを理解、表現、伝え合う…

（3）聞き手、読み手、話し手、書き手に配慮しながら主体的に外国語を用いてコミュニケーション……



○基礎となる語彙や文法の確実な習得のための工夫

○日常的な会話や社会的な話題について、相手に伝えたり質問に答えたりする場の設定（やり取り）

○日常的な話題や社会的な話題について、考えたこと感じたこと、その理由などを書く、推敲する、発表する場の設定（話すこと【発表】）（書くこと）

平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査結果（児童・生徒質問紙）

【小学校 児童質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	国語の勉強は好きですか	68.6	64.2	66.2

▲全国を3ポイント以上下回る項目

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	自分にはよいところがあると思いますか	73.8	81.2	80.7
2	学級みんなで話し合って決めたことなどに協力して取り組み、うれしかったことがありますか	80.4	84.1	83.1
3	新聞を読んでいますか	13.0	19.0	14.7
4	学校に行くのは楽しいと思いますか	82.7	85.8	85.9
5	外国の人と友達になったり外国のことについてもっと知ったりしてみたいと思いますか	61.7	68.6	67.2
6	道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいると思いますか	74.4	80.9	81.0

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

質問	肯定値（宇佐市・全国・大分県）
平日1日当たりどれくらい勉強をしますか△	2時間以上 20.5%（全国 29.3% 県 27.7%）
平日1日当たりどれくらい読書をしますか△	30分以上 35.6%（全国 39.8% 県 42.4%）
5年生までに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか○	週1回以上 36.7%（全国 30.6% 県 28.1%）

【中学校 生徒質問紙 結果】

◎全国を3ポイント以上上回る項目 ※数値は肯定値（当てはまる+どちらかといえば当てはまる）

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	先生は、あなたのよいところを認めてくれると思いますか	87.5	81.5	83.4
2	先生は、授業やテストで間違えたところや理解していなかったところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか	92.1	84.6	87.2
3	将来の夢や目標を持っていますか	74.7	70.5	71.6
4	難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦していますか	76.7	70.3	71.7
5	学校に行くのは楽しいと思いますか	85.9	81.9	83.6
6	自分で計画を立てて勉強していますか	56.5	50.4	51.4
7	読書は好きですか	71.8	68.0	66.5
8	地域の行事に参加していますか	58.3	50.6	53.9
9	数学の勉強は好きですか	65.3	57.9	56.6

▲全国を3ポイント以上下回る項目 数値は肯定値

番号	質問	宇佐市	全国	県
1	1. 2年生のときに受けた授業では、スピーチやプレゼンテーションなど、まとめた内容を英語で発表する活動が行われていたと思いますか。	62.5	77.2	74.5
2	1. 2年生のときに受けた授業では、自分の考えや気持ちなどを英語で書く活動が行われていたと思いますか	75.3	80.1	82.2

その他の回答様式で改善が見られる項目・課題が見られる項目

質問	肯定値（宇佐市・全国・大分県）
1. 2年生のときに受けた授業で、コンピュータなどのICTをどの程度使用しましたか△	週1回以上 25.6% 全国 30.6% 県 32.8%
平日1日当たりどれくらい勉強しますか○	2時間以上 44.4% 全国 35.5% 県 43.6%

平成31年度（令和元年度） 全国学力・学習状況調査結果（学校質問紙）

1 調査結果の概要（肯定的回答が特に多かった項目…○ 少なかった項目…△）

小・中学校：学校質問紙

- 児童・生徒は熱意を持って学習し、授業中も落ち着いている。
- 学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えている。
- 学習規律の維持を徹底している。
- 児童・生徒一人一人のよい点や可能性を見つけ評価する取組を行っている。
- 児童・生徒の姿や地域の現状に関する調査・各種データに基づき、教育課程を編成・実施・評価して改善を図る PDCA サイクルを確立している。
- 学力調査の結果を市の学力調査の結果と併せて分析し、分析し、具体的な教育指導の改善や指導計画等への反映を行っている。
- 教員は郊外の教科教育に関する研修会等に定期的・積極的に参加している。
- 学習指導と学習評価の計画の作成に当たっては、教職員同士が協力し合っている。
- 児童・生徒の特性に応じた指導上の工夫を行っている。
- 課題の設定からまとめ・表現に至る探究の過程を意識した指導をしている。
- 学級生活をよりよくするために、学級活動で話し合い、互いの意見の良さを生かして解決方法などを合意形成できるような指導を行っている。
- 習得・活用及び探究の学習課程を見通した指導方法の改善及び工夫をしている。
- 各教科で身に付けたことを、様々な課題の解決に活かすことができるような機会を設けた。
- 学力調査の事項の結果について、学校全体で教育活動を改善するために活用するとともに、保護者や地域の人たちに公表し、説明を行った。
- △将来就きたい仕事や夢について考えさせる授業を行った。（小）
- △長期休業期間中に自由研究などの家庭学習の課題を与える。（中）

2 学校質問紙調査の結果をふまえて（今後の課題）

- ◇各学校において、学力や生活についての課題を共有し、組織的な取組が行われている。今後も校長のリーダーシップのもと、教育課程を計画・実施・検証・改善をしていく。
- ◇近隣小中学校や、保護者・地域と連携した取組ができています。今後も、近隣中学校合同教科研修会やブロック小中学校の連携を充実させ、指導力の向上を図っていく。
- ◇ICT や学校図書館を活用した授業を推進する。
- ◇教員が校内外で研修した内容について、今後も教育内容に反映・実践できるように取組を工夫する。